疾患名　卵巣癌　No.235

プロトコール名　Bev＋PLD＋CBDCA療法

■進行・再発癌　■術後補助化学療法　□術前補助化学療法

□大量化学療法　□局所療法　□その他（　）

投与順	抗癌剤名（商品名・略号）	1日投与量	投与法	投与時間	投与日（d1, d8等）
1	アバスチン（アバスチン・Bev）	10mg/kg	div	初回90分 2回目以降 60～90分 3回目以降 30～90分	d1,15
2	ドキシル（ドキシル・PLD）	30mg/m^2	div	90分	d1
3	カルボプラチン（カルボプラチン・CBDCA）	AUC=5	div	60分	d1

1コース期間　（次コースまでの標準期間）	4週間
総コース数	6コース
コース間での休薬の規定	※Grade3以上の血液毒性

減量規定・中止基準	※Grade4の血液毒性
投与量の増量規定	なし
投与期間の短縮規定	なし
コースによる変化	なし
1日の中での抗癌剤投与順	Bev　→　ドキシル　→　CBDCA
ﾌﾟﾚﾒﾃﾞｨｹｰｼｮﾝ・ﾎﾟｽﾄﾒﾃﾞｨｹｰｼｮﾝ	ﾌﾟﾚﾒﾃﾞｨｹｰｼｮﾝ グラニセトロン1mg、デキサメタゾン6.6mg

患者条件（初回条件）　CTCAE v4.0

・PS 0～2
・セカンドライン以降
・主要臓器機能に大きな異常がない
・非妊婦、感染症のない患者
・MRIにおいて脳出血の所見なし

除外規定

・血小板が7万以下の患者
・重篤な骨髄抑制のある患者や、感染症を合併している患者
・妊婦又は妊娠している可能性のある婦人
・手術実施日より、28日以内の患者
・血栓塞栓症合併（既往歴の場合は慎重投与）
・喀血（2.5mL以上の鮮血の喀出）の既往のある患者

実施上の注意点

・Bev初回投与は90分かけて点滴静注する。初回投与の忍容性が良好であれば、2回目の投与は60分間で行っても良い。2回目の投与においても忍容性が良好であれば、それ以降の投与は30分投与とすることができる。調製時には生食を用い合計約100mLとする。本剤とブドウ糖溶液の同じ点滴ラインを用いた同時投与は行わないこと。
・PLDの総投与量が**500mg/m2**を超えると、心筋障害によるうっ血性心不全が生じる可能性がある。ドキソルビシン塩酸塩の総投与量については、他のアントラサイクリン系薬剤や関連化合物による前治療又は併用を考慮すること。
・本剤の投与量が90mg以上の場合5%ブドウ糖注射液500mLで希釈する